

4. ライフステージを通じた 相談・支援

～検討資料～

検討項目(案)

(1) 市町村、専門機関による相談支援の方策

- ・ 身近な市町村における相談・支援の充実が必要ではないか。あわせて、専門機関や都道府県が専門的な相談・支援を行い、市町村を支援することとしてはどうか。
- ・ 障害児（グレーゾーンの者を含む）やその保護者が、自分にとって身近な（敷居の低い）ところで、専門性のある相談支援を受けられるようにするためには、どのような方策が考えられるか。

(2) 関係者の連携強化

- ・ 障害児については、保健・福祉・教育など様々な関係者が支援を行うものであり、また、子どもの成長に応じて関係者も変わることから、障害者自立支援協議会の活用等を通じて、関係者の連携を強化する施策が必要ではないか。

(3) 個別支援計画づくり

- ・ 障害の発見時、入学時、進学時、卒業時などにおける個別支援計画づくりや関係者による支援会議の開催を強化すべきではないか（サービス利用計画費を活用）。
- ・ 一貫した支援のため、個人情報保護に留意しつつ、障害児についての支援の情報を関係機関で継続して共有する仕組みが必要ではないか。